



昭和御大禮記念 養正館

矢野, 吉治

(Citation)

海事博物館研究年報, 53:38-39

(Issue Date)

2026-03-31

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(JaLCD0I)

<https://doi.org/10.24546/0100504881>

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100504881>



昭和御大禮記念 養正館

顧問 矢野吉治

昭和3（1928）年11月10日に京都御所で即位の大典が執り行われた。神戸高等商船学校ではこの喜びを永く記念するための事業の議により校内に記念館を建設することになった。建設資金の一万円を学校教職員、在校生、練習生及び卒業生に広く募り、昭和9年7月10日の起工から12月20日の竣工に至り、翌昭和10（1935）年2月11日をもって落成開館式が挙行された。（大典・大禮：朝廷の儀式）

館名の“養正”は、神戸高等商船学校第二代校長の小関三平（任期：大正12年10月～昭和10年3月）の告辞から神武天皇詔勅中の一節「…皇孫（スメミヤ）正ヲ養フノ心…」に由来する。

【詔勅】「上ハ則チ乾霊（アマツカミ）国ノ授クルノ徳ニ答ヘ下ハ則チ皇孫（スメミヤ）正ヲ養フノ心ヲ弘メ然後六合を兼ネ以テ都ヲ開キ八紘ヲ掩フテ以エ宇（イエ）ト為スコト亦可（ヨ）カラザラン乎」

さらに“養正”の二文字には①民心の和合 ②国運の隆昌 ③国交の親善 ④世界の平和 ⑤人類の福祉への願いが込められると説いた。昭和15（1940）年11月23日には日華事変（昭和12（1937）年7月～）以来の戦没先輩の御霊を祀るため、養正館の東側前庭に時の文相松浦鎮次郎閣下の染筆を以て殉国烈士碑と銘せられた慰霊碑の除幕に至り、生徒たちは朝夕に礼拝した。

養正館は神戸高等商船学校時代から戦中戦後の変革期を経て昭和27（1952）年5月の神戸商船大学の創立、さらには平成15（2003）年10月の神戸大学との大学統合を通じ、附属施設として教職員や生徒・学生達に永らく大切に利用され保存されてきた。しかしながら近年は老朽化のためにその存続が厳しい状況にあり、令和2（2020）年のコロナ禍以前から養正館の建屋を含む敷地の有効活用が検討されてきた。このような中、令和8（2026）年2月1日を以て、いよいよ養正館敷地の事業者への賃借が始まった。この事業の概要は以下の通り。

- ①用途：サービス付き高齢者向け住宅（老人ホーム）、シェアハウス（寄宿舍）、障がい者グループホーム（福祉ホーム）、障がい者就労継続支援事務所（児童福祉施設等）
- ②住宅の戸数：サービス付き高齢者向け住宅：48室、障がい者グループホーム：10室、シェアハウス：5室
- ③工事：新築、地上5階鉄骨構造・高さ18.89m、敷地面積1,607.33㎡・延べ面積2,928.91㎡
- ④工事で手予定日：令和8年3月15日 ⇒ ⑤工事完了予定日：令和9年5月31日
- ⑥建設主：社会福祉法人明倫福祉会

「歴史ある養正館の想いを受け継ぎ、新たな福祉の場が生まれる」と銘打ち、令和8（2026）年2月8日（日）の午前10時から午後3時の間、近隣住民等を対象に「ふかえ未来フェス・養正館解体前イベント」が事業者により養正館敷地内で真摯に執り行われた。館内1階の和室には歴史ブースが設けられ、養正館が建てられた昭和初期の神戸高等商船学校を含む深江界隈の貴重な写真と歴史が紹介され、早朝から希な大雪に見舞われたが、前庭では屋台、炊き出し、飲食ゲームブースの他、福祉体験コーナー、ドッグカフェ、壁にお絵かきコーナーとともに大抽選会も催された。



参考：神戸商船大学五十周年記念誌（昭和46年9月）

昭和御大禮記念
養正館
養正館館名タイル（令和8年3月4日収蔵）

- 変遷 川崎家三代の偉業により私立川崎商船学校から官立神戸高等商船学校を経て現在へ
- ・大正6（1917）年9月川崎商船学校設立認可
 - ・大正9（1920）年8月国家へ献納（私財総額：3,300,284円14銭）⇒神戸高等商船学校創立
 - ・昭和20（1945）年4月高等商船学校を清水に統合⇒海技専門学院・高等商船学校神戸分校創設
 - ・昭和27（1952）年5月神戸商船大学設立⇒平成15（2003）年10月大学統合により神戸大学へ

- ①本館
- ②機関実験室及工場
- ③機関実験室
- ④機関工場
- ⑤新館（教室及実験室）
- ⑥教室
- ⑦水槽試験室
- ⑧無線実験室
- ⑨航海実験室及技業室
- ⑩教室及実験室
- ⑪南館（教室及図書館）
- ⑫養正館
- ⑬寄宿舍（事務室）
- ⑭寄宿舍（食堂）
- ⑮寄宿舍（寝室及自習室）
- ⑯寄宿舍（需品部）
- ⑰病室
- ⑱厨房
- ⑲武道場
- ⑳昭和丸
- ㉑大正丸
- ㉒浴室
- ㉓端艇庫
- ㉔別科教室
- ㉕小ポンド
- ㉖休養室



神戸高等商船学校校舎配置図〈昭和20（1945）年頃〉



阪神電気鉄道ふか駅
明治38（1905）年4月
大阪―三宮間に開通



養正館と殉国烈士碑



令和8（2026）年1月26日の養正館



2階の大部屋和室



1階和室



雪中の養正館解体前イベント（2月8日）